



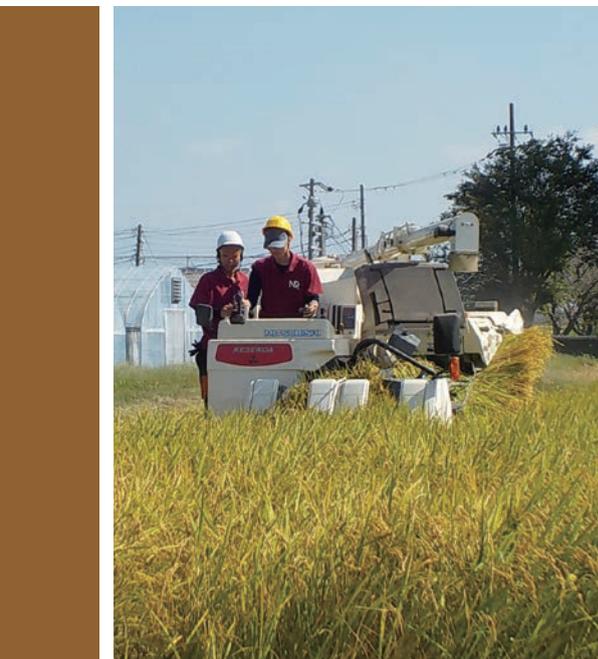
専修学校 滋賀県立 農業大学校

学校要覧

SHIGA PREFECTURE
AGRICULTURAL COLLEGE



農を拓く人材に
夢・希望を実現する学校！



教育方針

本県の次代の農業経営を担う優れた人材を育成するとともに、地域社会における農業の振興等に指導的役割を果たす、個性豊かな人材を養成する。

- 1 近代的な農業を行うために必要とされる高度な専門知識技術および経営能力を養成する。
- 2 実践学習を通じて、農業者としてふさわしい幅広い視野を持った経営能力および組織活動能力を養成する。

教育研修体系

養成科と就農科を柱に、滋賀県農業を担う優れた人材を育成しています。

滋賀県立農業大学校

養成科 ○修業年限:2年 ○定員:30人
※卒業時には「専門士」の称号が与えられます

- 農産課程 ○水田農業専攻コース ○茶専攻コース
- 園芸課程 ○施設園芸専攻 野菜コース ○果樹専攻コース
- 畜産課程 ○施設園芸専攻 花きコース
- 畜産専攻コース

就農科 ○研修期間:1年 ○定員:15人
※就農科は専修学校には該当しません

- 園芸コース ○野菜 ○花き ○果樹

沿革

- | | | |
|-------|-----|--|
| 昭和44年 | 4月 | 滋賀県立高等営農学園を開校する（定員：本科80名、別科若干名） |
| 昭和45年 | 4月 | 短期研修科を設置する（定員：若干名） |
| 昭和50年 | 4月 | 滋賀県立営農大学校と改称する（定員：本科40名、別科10名、短期研修科若干名） |
| 昭和52年 | 10月 | 農林水産省の農業者研修教育施設（農業改良助長法による）指定校となる |
| 昭和54年 | 4月 | 別科を廃止、本科定員50名とする |
| 平成元年 | 4月 | 滋賀県立農業大学校と改称する（定員：本科30名） |
| 平成11年 | 4月 | 研修科を設置する（定員：若干名、6ヶ月） |
| 平成19年 | 4月 | 農林水産省の農業者研修教育施設に加え、学校教育法に基づく文部科学省の専修学校となる
本科を養成科と改称、研修科を就農科に改組する（定員：若干名、1年）
寮制度を廃止する |
| 平成26年 | 4月 | 就農科定員10名とする |
| 令和3年 | 4月 | 就農科定員15名とする |

養成科

優れた青年農業者を育成するため、高等学校を卒業した者、または同等以上の学力を有すると校長が認めた者を対象に実践教育を行います。

■教育課程

専攻コース・教育場所

専門課程	専攻コース	教育場所	修業年限	入学定員
農産	水田農業	本校	2年	1学年 30名
	茶	本校、茶業指導所		
園芸	施設園芸（野菜・花き）	本校		
	果樹			
畜産	畜産	本校、畜産技術振興センター		

※専攻コースの教育場所は1年生の9月以降で、それまでは全員本校となります。

※茶業指導所は甲賀市水口町水口、畜産技術振興センターは蒲生郡日野町山本にあります。

■教育体系

学習概要・年間行事

月	1年生	2年生	主な行事
4	春期休業	春期休業	春期休業
5	教養・共通学習	専攻学習・共通学習	入学・入校式、始業式、新入生オリエンテーション
6	農業体験学習		プロジェクト計画検討会
7	教養・共通学習		校内体育大会
8	夏期休業	夏期休業	トラクタ研修、三者面談
9	専攻学習・共通学習	専攻学習・共通学習	東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会
10			前期試験、終業式
11			始業式
12			1年生研修旅行
1	冬期休業	冬期休業	農業体験学習報告会
2	専攻学習・共通学習	専攻学習・共通学習	収穫祭
3			プロジェクト研究発表会
4			終業式
5	専攻学習・共通学習	専攻学習・共通学習	冬期休業
6			始業式
7	専攻学習・共通学習	家庭学習	東海近畿農業大学校意見研究発表会
8			後期前半試験
9	春期休業	春期休業	全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
10			卒業・修了証書授与式
11	春期休業	春期休業	後期後半試験、終業式
12			春期休業

※1年生の後期以降にも一部教養学習はあります

※休業は春期3月21日～4月10日、夏期7月21日～8月31日、冬期12月23日～1月7日の期間です

■学習時間

校時	時間	備考
第1・2時限	9:00～10:30	講義、実習、ゼミナール等
第3・4時限	10:40～12:10	
第5・6時限	13:10～14:40	
第7・8時限	14:50～16:20	
プロジェクト	16:20～17:00	実習記録等

■教育科目 ■専攻別学習内容・実習

教養科目	1年生	法律 経済 英語 体育 倫理Ⅰ 情報処理Ⅰ 農業基礎 学習方法論Ⅰ
	2年生	倫理Ⅱ 学習方法論Ⅱ 地理
専門科目 (共通科目)	1年生	農業政策 農業経営 農業簿記 農産物流通 農業技術概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 農業機械(学科・実技) 土壌肥料 農業概論 特殊技術学習 労働衛生 環境と農業 気象と農業災害 スマート農業 農産物生産管理(GAP) 複合経営・多角経営 農業機械実習 基礎実習 農業体験学習Ⅰ
	2年生	農産物マーケティング 6次産業化農業 情報処理Ⅱ 農業体験学習Ⅱ

特別活動	学校行事	入学・入校式 始業式 終業式 卒業・修了証書授与式 東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会 校内体育大会 研修旅行 収穫祭 プロジェクト発表会
	特別学習	指導農業士・本校卒業生の講話 進路ゼミ 特別講義
	自治会活動	学生自治会主催の活動(新入生歓迎会・収穫祭等) クラブ活動(有志)

専攻コース別科目

農産課程

水田農業専攻コース

水稲や麦大豆・露地野菜などの栽培技術、農業機械の操作を習得します。



1年生

水稲栽培Ⅰ 大豆栽培
土地利用型園芸Ⅰ
農業機械Ⅰ(水田作業機)
植物病理 応用昆虫 作物病害虫
稲作経営 野菜流通Ⅰ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年生

水稲栽培Ⅱ 麦類の栽培
水田雑草対策 土地利用型園芸Ⅱ
大規模経営と集落組織 野菜流通Ⅱ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

茶専攻コース

1200年の歴史と伝統ある「近江の茶」の栽培と近代的な製茶技術を習得します。



1年生

茶の栽培基礎Ⅰ 茶の栽培応用Ⅰ
茶園の施肥法Ⅰ 茶の製造・再製Ⅰ
植物病理 応用昆虫 茶の病害虫
茶業経営Ⅰ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年生

茶の栽培基礎Ⅱ 茶の栽培応用Ⅱ
茶園の施肥法Ⅱ 茶の製造・再製Ⅱ
茶の化学 茶業経営Ⅱ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

施設園芸専攻(野菜)コース

少量土壌培地耕によるトマト・キュウリ・イチゴなどを中心に栽培技術を習得します。



1年生

施設園芸総論 キュウリ栽培
トマト栽培 イチゴ栽培
野菜経営 野菜流通Ⅰ
土地利用型園芸Ⅰ
園芸用施設 植物病理 応用昆虫
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年生

軟弱野菜栽培 ナス栽培 メロン栽培
土地利用型園芸Ⅱ 野菜流通Ⅱ
少量土壌培地耕システム
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

園芸課程

施設園芸専攻(花き)コース

切り花(バラ・キクなど)や鉢花(シクラメン)、花苗などの栽培管理技術を習得します。



1年生

施設園芸総論 バラ栽培
カーネーション栽培 キク栽培
花き流通 フラワーデザインⅠ
土地利用型園芸Ⅰ
園芸用施設 植物病理 応用昆虫
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年生

鉢花・花苗栽培 草花栽培
洋ラン・観葉植物栽培 花き経営
フラワーデザインⅡ
少量土壌培地耕システム
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

果樹専攻コース

ブドウ・ナシ・モモ・カキ・イチジクなどの果樹栽培技術を習得します。



1年生

果樹総論 ナシ栽培 ブドウ栽培
モモ栽培 カキ栽培
植物病理 応用昆虫 果樹経営Ⅰ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年生

イチジク栽培 ブルーベリー栽培
各種果樹栽培 果実の化学
果樹病害虫 果樹経営Ⅱ
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

畜産課程

畜産専攻コース

「近江牛」で知られる肉用牛をはじめ、乳用牛や鶏などの飼養管理技術を習得します。



1年生

畜産総論 飼養管理Ⅰ 家畜栄養
家畜繁殖 家畜衛生 家畜解剖
飼料作物Ⅰ 畜産経営
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習

2年生

飼養管理Ⅱ 家畜育種 生物工学
飼料作物Ⅱ 畜産物流通
専攻演習(ゼミナール)
実習およびプロジェクト学習
卒業論文

農業体験学習Ⅰ・Ⅱ

1年生は4日間、2年生は2か月間、先進農家において地域農業の実態に接し、農業技術やその経営感覚を学びます。



農業体験学習Ⅰ



スマート農業(ドローン体験)



ASIAGAP認証の更新審査(メロンでASIAGAP認証を取得しています。)



農業機械実習

プロジェクト学習とその成果発表

2年生は、課題解決学習の一環として、各学生が課題を1つ設定し、その解決方法のための計画の樹立、栽培・飼養の管理、調査の実施、結果の取りまとめといった一連の流れを実践する、プロジェクト活動に取り組んでいます。その結果をまとめ、1人ずつ発表に臨みます。優秀者は、当校を代表し東海近畿プロジェクト発表会に参加し、全国プロジェクト発表会を目指します。



プロジェクト研究発表会

Shiga Prefecture Agricultural College

CAMPUS LIFE

■学校生活

2年間の学生生活では、各専攻学習や各種資格取得のほか、1・2年生が協力して学生自治会活動等に自主的・精力的に取り組んでいます。

●学校行事、学生自治会活動等



○春期休業（～4/10）

- 入学・入校式、始業式
- 新入生オリエンテーション
- プロジェクト計画検討会

- 東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会
- トラクタけん引研修

○夏期休業（～8/31）

●1年生研修旅行

- プロジェクト研究発表会
- 終業式
- 冬期休業（12/23～）

- 全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会



研修旅行（1年生）



農大農産物直売所「フレッシュ503」
経営感覚を身につけるため、実習で収穫された作物、花、野菜、果物を販売します。月2回、第1・第3水曜日に開催。



入学・入校式



校内体育大会



東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会



農業体験学習報告会



卒業・修了証書授与式



プロジェクト計画検討会



トラクタ研修



トラクタけん引研修



収穫祭

東海近畿農業大学校意見研究発表会



全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会



～意見発表の部～特別賞受賞

■多様な技術の習得

●農業機械等の習得

大型特殊自動車であるトラクタの運転技術およびけん引運転技術の習得とその免許取得に向けた研修です。



トラクタ基本運転練習



トラクタけん引運転練習

■特色と資格免許の取得

●特色

- 本課程を修了した者（以下 卒業生）には「専門士」の称号が与えられます。
- 卒業生は、人事院規則・滋賀県人事委員会規則上、短期大学卒業と同等に扱われます。
- 卒業生または卒業見込みの者は4年制農業系大学への編入学試験の受験ができます。（ただし、編入学制度を有する大学のみ）

- 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を受けることができます。
- 就農予定者は、在学中に国の新規就農者育成総合対策（就農準備資金）の支援を受けることができます。（ただし、年齢・所得等の要件あり）
- 公益社団法人国際農業者交流協会が行う海外農業研修に応募できます。

●資格免許の取得

希望者は、就農や就職に必要とされる各種資格免許の取得が可能です。

本校で実習等

- ・大型特殊免許（農耕用）
- ・けん引免許（農耕用）
- ・危険物取扱者（乙種第4類）



アーク溶接特別教育

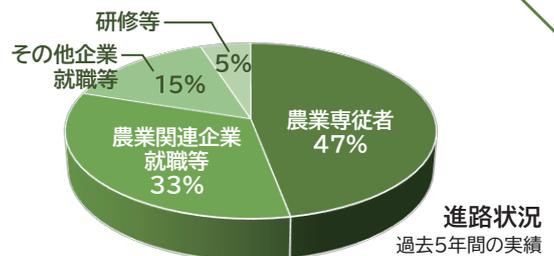
- ・アーク溶接特別教育
- ・毒物劇物取扱者（農業用品目）
- ・ボイラー取扱技能講習
- ・フォークリフト運転技能講習
- ・ガス溶接技能講習
- ・家畜人工授精講習（畜産専攻生）
- ・床上操作式クレーン運転技能講習
- ・小型移動式クレーン運転技能講習
- ・玉掛け技能講習
- ・小型車両系建設機械運転特別教育
- ・車両系建設機械技能講習



小型移動式クレーン運転(5ト未満)

■進路状況（過去5年間の実績）

- ◎農業専従者（自営および雇用就農） 47%程度
- ◎農業関連企業就職 33%程度
- ◎その他企業就職等 15%程度
- ◎研修等 5%程度



進路状況
過去5年間の実績

過去5年間（令和2年度末から令和6年度末まで）の進路状況は、卒業生121名に対して、就農者は、57名、農協や関連企業への就職者数は40名となっています。

就農者は滋賀県農業の担い手として、自営だけでなく農業法人でも活躍しています。また、農協や農業関連企業に就職した者も地域農業の指導的な役割を果たし活躍しています。さらに卒業後、四年制大学へ編入する者もいます。

先輩から Message

水田農業コース

2年 鈴木 ななみさん
(長浜農業高校 卒業)

農大では、実際に農作業を学ぶためこれから農業に携わる人におすすめです。農家の人でも非農家の人でも実践的な技術と知識を習得することができます。また農業に関する資格免許を授業の一環として取得できるため入学前に知識がなくても大丈夫です。さらに先生や先輩から親身になって指導してもらえます。興味のある方はぜひ一度オープンキャンパスに来てください。

果樹コース

2年 太田 智也さん
(湖南農業高校 卒業)

農大の魅力は、実習メインで農業に関する知識や技術を深く学ぶことができます。私は、農業法人で働きたいと思ったので知識や技術を深く学べるこの農大を選びました。農大は、先生からのサポートもかなり手厚いので、普通科の人や未経験の人でも安心して学ぶことができます。興味のある方はオープンキャンパスに来てください。

就農科

本県において就農をめざす優秀な人材を育成するため、就農に必要な実践的栽培技術や経営管理手法をそれぞれの経験や熟度に応じて習得することにより、円滑な就農を促し、安定した農業経営の実現をめざします。

■専攻コース

専攻コース	修業年限	定員	選択科目
園芸	1年	15名	野菜 花き 果樹

■研修内容

個々の研修生の知識・経験等を勘案しながら農業経営に必要な実践的な講義ならびに実習を行います。

実習

○栽培管理実習

野菜では、就農科専用の施設を活用して栽培管理技術を習得します。
花き・果樹では、養成科の施設園場等を活用して栽培管理技術を習得します。

○販売管理実習

栽培管理実習で得られた農産物について、収量や直売記録を通じた実践的販売管理を学びます。

○経営管理実習

栽培管理実習・販売管理実習の結果を記帳し、実習の成果を数字で表すことにより緊張感ある実習とします。

講義

○経営管理技術

農業経営管理基礎
農業政策・法務
パソコン農業簿記
農業マーケティング論

○栽培管理技術

選択科目の概論
(野菜・花き・果樹のいずれか)
選択科目の生理・生態
選択科目の栽培管理法

※この他に養成科の講義を聴講することができます。

○就農計画ゼミ

研修終了後の農業経営について経営計画を樹立します。

○就農検討会

就農に向けた準備の具体化を行うため、研修生の就農先の指導機関と連携のもと、研修の進行管理や就農に向けての計画の内容について検討を行います。

○就農計画発表会

就農検討会の中で作成した就農計画をもとに、指導機関や校内関係者向けに自身の計画の発表を行う。1年間の研修の集大成となる。

その他

就農に向けて必要な資格・技術は養成科の講義を受講することにより取得することができます。(養成科の資格取得を参照)



イチゴの収穫作業



イチゴの調整作業



野菜の調整作業



イチゴベンチの組立



農業簿記



就農計画発表会

■就農科の1年 ～就農計画、就農準備～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就農計画樹立	計画案の策定	第1回就農検討会	計画の具体化 (品目確定、数字の具体化、 制度資金活用計画、他)			第2回就農検討会	計画の確定・認定取得 公庫審査～融資決定					
圃場準備	ハウス・設備の見積もり 農地の取得・利用権設定準備 融資の相談、情報収集						施工業者選定～施工(整地、施設) 農地取得手続き					
就農関連講義	農業経営管理基礎～農業政策・法務(公庫、基金からの説明含む)、農業簿記、PC簿記						農業マーケティング論、他					
休暇	夏季休業						※就農科は夏季休業中も月・水・金の通常実習+当番制実習があります 冬季休業					

就農

■就農科の1日 ●9:00登校、16:20下校 ●作物の成長状況などに合わせて作業をします

9:00	10:30	10:40	12:10	13:10	14:40	14:50	16:20
1限	休憩	2限	昼休憩	3限	休憩	4限	
収穫・調整		収穫・調整 栽培管理		栽培管理 講義		栽培管理 講義	

※作業内容により、時間等変更する場合があります

■開放講座

農業大学校では、新規就農を希望される方や農業者のみなさま向けに講座や研修を実施しています。詳しくは農大ホームページをご覧ください。

■新規就農準備講座

本県において野菜・花・果樹で新規就農を希望される方への講座

講座名	内容	開催時期	定員
野菜(イチゴ)	<ul style="list-style-type: none"> 栽培技術や作業についての講義、実習 新規就農者事例発表 就農までのステップ 農業大学校における技術の習得 	5月	各10人
花(キク)		5月・9月	
果樹(梨・ぶどう)		5月・9月	
野菜(キュウリ・トマト)		9月	



新規就農準備講座風景

■農業機械研修Ⅰ

農業機械の基本操作や点検技術を学びたい本県農業者の方に対する研修

研修名	内容	開催時期	定員
農業機械基本研修【実技編】	農作業初心者に向けた農作業安全研修(農業機械の基礎知識、トラクタによる耕うん作業、草刈作業の基本など初歩的な技能の習得)	10月	20人
農業機械基本研修【点検編】	トラクタおよびコンバインの点検整備と簡単な修繕技能の習得(実技編を受講していなくても受講可能)	12月	20人



農業機械基本研修風景

■農業機械研修Ⅱ

大型特殊(農耕用)免許やけん引(農耕用)免許の取得を希望される本県農業者の方に対する研修

研修名	内容	開催時期	定員
トラクタ基本研修	トラクタの構造、運転操作等、大型特殊(農耕用)免許の取得を目指す	10月	20人
けん引研修①②	トレーラーの運転操作、けん引(農耕用)免許の取得を目指す	①10月 ②11月	各15人



けん引研修風景

本校施設

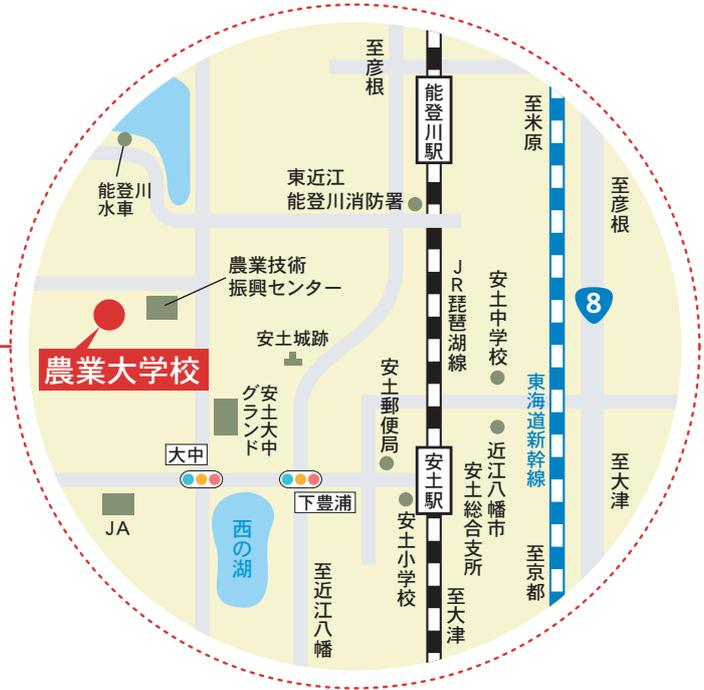
教育研修施設配置図



用地	敷地（総面積）	85,906 m ²	
	農業用地	64,251 m ²	
	農業外用地	21,655 m ²	
本館および附属施設	研修館（校長室、職員室、教室、会議室、図書室等）	延べ 925 m ²	
	あしば研修館（情報処理室、ゼミ室、就農相談室等）	358 m ²	
	学生会館（学生ホール、談話室、浴室、保健室、宿泊室等）	延べ 1,265 m ²	
	体育館	694 m ²	
	トラクタ練習場	5,500 m ²	
専攻学習施設	ほ場	水田 435a	
		果樹園 41a	
		露地畑 30a	
	施設	ガラス温室 9棟	2,082 m ²
		鉄骨ビニールハウス 3棟	627 m ²
		ビニールハウス 11棟	2,568 m ²
農業機械研修室		120 m ²	

● 本校所在地と交通手段 ACCESS ●

- ◆ JR 琵琶湖線「安土駅」より 5 km、タクシー約 10 分
- ◆ JR 琵琶湖線「能登川駅」より 5 km、タクシー・スクールバス約 10 分



専修学校 滋賀県立農業大学校

〒521-1301 滋賀県近江八幡市安土町大中 503 番地
TEL.0748-46-2551 FAX.0748-46-2552
E-mail:gc61@pref.shiga.lg.jp
<https://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/daigakkou/>



ホームページ



Facebook



Instagram